

## 政府系金融機関によるグリーンローンに関する実証研究

神戸大学大学院経営学研究科教授

内田 浩史

温暖化や環境破壊といった深刻な環境問題の解決に向けた動きが全世界的に加速する中、金融面から環境問題への対処を促進しようとする「グリーンファイナンス」の重要性が認識されるようになってきている。グリーンファイナンスには様々な形態があるが、その重要な構成要素の一つが金融機関による貸出であり、「グリーンローン」と呼ばれている。グリーンローンを始めとするグリーンファイナンスの実態に関し、データを用いた学術分析を行うことは、より効果的な問題解決や政策立案のための含意を得る上で非常に重要である。しかし、少なくともグリーンローンに関する限り、分析は実際には行われていない。

本報告では政策金融を担う公的金融機関の一つである日本政策金融公庫中小企業事業部門による環境・エネルギー対策貸付制度に注目し、分析を行う。この貸付制度は、環境問題やエネルギー問題の解決に資する資金を中小企業に貸し付けるものであり、これらの問題に対する重要な政策的対応の一つである。また、同制度はグリーンファイナンスや社会的インパクト投資が注目を集めるようになるずっと以前から日本に存在する重要なグリーンローンであり、その実態を明らかにすることには大きな意味が存在する。本報告では、グリーンローン分析の学術的な位置づけを整理しつつ、上記制度の実態について報告する。